

R3年1月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
1月1日	1月6日	6日	尿路感染症	KT39.0°Cの発熱 検尿：亜硝酸(+) 白血球(-) Dr聴診にて胸部音特に問題なし 尿路感染症の診断 抗生剤6日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 7T 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
1月1日	1月5日	5日	肺炎 (誤嚥性)	KT38.5°Cの発熱 Dr聴診にて肺ラ音著明 誤嚥性肺炎の診断 抗生剤、鎮咳去痰剤5日間投与 クラリスロマイシ(200) 2T/2×1 5T 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 1/5酸素化不良となり、 H.P救急搬送入院加療となる
1月3日	1月9日	7日	尿路感染症	KT38.1°Cの発熱 検尿：亜硝酸(+) 白血球(-) Dr聴診にて胸部音問題なし 尿路感染症の診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 7T 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
1月4日	1月10日	7日	尿路感染症	3日前より排尿時痛あり 発熱は見られず 検尿：亜硝酸(+) 白血球(+) 尿路感染症の診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシ(100)3T3×1 7T 経過観察へ
1月16日	1月20日	5日	肺炎	1/16 KT38.7°Cの発熱 Dr聴診にて心音呼吸音共に弱い 抗生剤5日間投与 クラリスロマイシ(200)2T/2T 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 1/18胸部X-P施行：両下肺野に肺炎像の所見あり PCR検査(陰性) 食事摂取不良、微熱傾向につき 家族意向のもと 1/20H.P入院加療となる
1月8日	1月14日	7日	肺炎	KT38.0°C前後の発熱 検尿：亜硝酸(2+)糖(2+) Dr聴診にて肺雑はないも 肺炎の診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓 食事摂取不良につき 1/14H.P対応となる